



市川中HP

市川 今年の漢字は「幸」

▼12月22日(金)、登校日が80日という最も長い2学期が無事に終了しました。終業式では、全校生徒に次のような話をしました。

▼登校日が80日という最も長い2学期が本日で終了します。9月の陵風祭を皮切りに、新人戦に合唱発表会、そして生徒会役員選挙と、次々に大きな行事を、様々な工夫と皆さんの頑張りによって、成功に導いてくれたことをうれしく思います。▼また、今学期は10月26日に臨時生徒総会を開き、SDGs市川中オリジナル18番目の目標として「毎日を幸せと思えるように」を設定し、きまりや心得についての話し合いを行うことができました。▼これは、ウェルビーイングの向上という教育界における最先端の考え方を取り入れた誇るべき活動目標であり、この考え方に基づき「あいさつ井」や「チリ一つ残さない学校」など、創造的な取組が生徒会主導で展開されたことはとても大きな成果であり、スクールモットーである「一人一人が大切にされる学校」の実現に向けて前進できたことを、本当にうれしく思います。▼さて、今年の漢字に「税」が選ばれました。皆さんにとっての漢字は何が思い浮かびますか？校長先生としては、「幸」という漢字が思い浮かびました。理由としては、やはり、臨時総会でSDGsオリジナル目標として「毎日を幸せと思えるように」を設定し、全校生徒で、幸せで笑顔の絶えない楽しい学校を創ろうという思いを共有し、それに向けて着実に歩み出したことが、何よりもうれしかったからです。▼その一方で、世界に目を向けると「幸」とは真反対な状況にある国や地域があります。それが、ウクライナであり、ガザ地域なのです。北海道より緯度で約5度高いウクライナでは、電力不足で十分な暖をとることもできない2年目の厳しい冬を迎えます。また、ガザ地域では、無差別攻撃により子供4500人が死亡し(11月10日現在)最近では、千人を超える子供たちが、手足を切断しなければならない状況にあるという報道を目にしました。実に悲しい世界の

状況であり、一刻も早く戦争や闘争が終結し、元の幸せな毎日が戻ることを願うばかりです。そんな思いを込めて、この「幸」を選びました。▼結びに、いよいよ、明日からは、待ちに待った冬休みが始まります。一年のまとめをしっかりと行い、3学期の始業式では、やる気に満ちた元気な姿を見られることを期待しています。有意義な冬休みにしてください。

生徒会役員選挙

▼19日(火)令和6年度生徒会役員選挙が行われました。3・4校時に行われた立会演説会では、会長候補1名、2年副会長候補2名、1年副会長候補3名、書記候補1名、会計候補1名の計8名の候補者が力強く選挙公約と決意を述べました。また、各応援演説者も候補者の長所やこれまでの実績を熱く語り支持を呼びかけました。▼5・6校時に投票が行われ、結果は以下のようになりました。選挙が終わればノーサイド、さらなる市川中学校の発展のために、生徒会が一丸となって、学校生活を豊かなものにして欲しいと思います。



会長：村松大悟
副会長：後藤田宗助 長田愛莉 一瀬うみ
書記：乙黒叶 会計：伊藤妃彩

アンサンブル『銀賞』

▼17日(日)、第47回山梨県アンサンブルコンテストがYCC県民文化ホールで行われました。本校の吹奏楽部も「ジークフリート」を演奏し、見事、中学生部門の銀賞を受賞しました。

